こちら

全管連青年部協議会

です！

私達、全国管工事業協同組合連合会 青年部協議会（略称：全管連青年部協議会）は、管工事組合及び組合員の次代を担う後継者を育成し、会員相互の親睦と親密なる提携を図り、その活動を強化することにより管工事業と中小企業の組織活動の推進とその振興に寄与することを目的として、1997 年 2 月 15 日に設立され、現在 24 年目を迎え、28 都道府県、31 会員団体、1,450 名を超える会員となりました。

親組合である「全国管工事業協同組合連合会」との連携を図りながら組合にメリットをもたらす活動、そして青年部員の調和と団結と自己啓発を生み出し、新しい時代のニーズに合った組合活動を見据えながら日々活動を続けております。

平成 29 年には神奈川県管工事業協同組合青年部、平成 30 年には横浜市管工事協同組合青年部、岩手県管工事業協同組合連合会 青年部連絡協議会が加入しました。今後もさらに全国の仲間を増やすべく、会員拡大を図ってまいります。

マスコットキャラクター

カレンちゃん

アクアくん

会 員 名 簿

１）北海道／北海道管工事業協同組合連合会青年部協議会
２）青森県／青森県管工事業協同組合連合会青年部協議会
３）岩手県／岩手県管工事業協同組合連合会青年部連絡協議会
４）宮城県／宮城県管工業協同組合青年部連絡協議会
５）秋田県／秋田管工事業協同組合青年部協議会
６）山形県／山形市管工事協同組合青年部
７）福島県／福島県管工事協同組合連合会青年部
８）栃木県／宇都宮市管工事業協同組合青年部会
９）埼玉県／埼玉県管工事業協同組合連合会青年部協議会
１０）神奈川県／横浜市管工事協同組合青年部
１１）神奈川県／神奈川県管工事業協同組合青年部
１２）神奈川県／川崎市管工事業協同組合青年部会
１３）東京都／東京都管工事工業協同組合青年部長協議会
１４）新潟県／新潟市管工事業協同組合青年部
１５）富山県／富山県管工事業協同組合連合会青年部
１６）石川県／石川県管工事協同組合青年部会
１７）愛知県／名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会
１８）京都府／京都府管工事工業協同組合青年会
１９）和歌山県／和歌山市管工事業協同組合青年部
２０）兵庫県／兵庫県管工事業協同組合連合会青年部協議会
２１）岡山県／岡山市管工設備協同組合青年部
２２）広島県／広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会
２３）広島県／福山管工事協同組合青年部
２４）香川県／高松市上下水道工事業協同組合青年部会
２５）愛媛県／愛媛県管工事協同組合連合会青年部連絡協議会
２６）徳島県／徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部
２７）高知県／高知市管工事設備業協同組合青年部委員会
２８）福岡県／福岡市管工事協同組合青年部会
２９）長崎県／長崎市管工業協同組合青年部
３０）熊本県／熊本市管工事協同組合青年部会
３１）大分県／大分市管工事協同組合青年部会

全管連青年部協議会の組織

総務部会

会長 － 総務担当副会長 － 副会長 － 総務部会長 － 総務副部会長

事業部会

会長 － 事業担当副会長 － 副会長 － 事業部会長 － 事業副部会長

役員（令和３年度）

会　長	太田	勝晶（神奈川／川崎市管工事業協同組合青年部会）
総括副会長	髙橋	智彦（岩手／岩手県管工事業協同組合連合会青年部連絡協議会）
総務担当副会長	林	誠（熊本／熊本市管工事協同組合青年部会）
事業担当副会長	廣田	勝義（栃木／宇都宮市管工事業協同組合青年部会）
総務部会長	安宅	弘明（高知／高知市管工事設備業協同組合青年部委員会）
事業部会長	小野	剛（大分／大分市管工事協同組合青年部会）
総務副部会長	三原	忍（石川／石川県管工事協同組合青年部会
事業副部会長	田母神友梨	（東京／東京都管工事工業協同組合青年部長協議会）
理　事	渡部	正益（北海道／北海道管工事業協同組合連合会青年部協議会）
〃	村上	拓世（青森／青森県管工事業協同組合連合会青年部協議会）
〃	本山	泰督（宮城／宮城県管工業協同組合青年部連絡協議会）
〃	高橋	洋平（秋田／秋田管工事業協同組合青年部協議会）
〃	深瀬	継人（山形／山形市管工事協同組合青年部）
〃	大橋	学（福島／福島県管工事協同組合連合会青年部）
〃	増田	喬歳（埼玉／埼玉県管工事業協同組合連合会青年部協議会）
〃	本田	泰章（神奈川／神奈川県管工事業協同組合青年部会）
〃	田中	顕輔（神奈川／横浜市管工事協同組合青年部）
〃	井戸村友正	（新潟／新潟市管工事業協同組合青年部）
〃	松下	智洋（富山／富山県管工事業協同組合連合会青年部）
〃	宮澤	祐輔（愛知／名古屋市指定水道工事店協同組合青年部会）
〃	加藤	友幸（京都／京都府管工事工業協同組合青年会）
〃	中西	敏揮（和歌山／和歌山市管工事業協同組合青年部）
〃	東	健太郎（兵庫／兵庫県管工事業協同組合連合会青年部協議会）
〃	田口	貴裕（岡山／岡山市管工設備協同組合青年部）
〃	迫田	邦彦（広島／広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会）
〃	髙木	亮輔（香川／高松市上下水道工事業協同組合青年部会）
〃	木村	豪宏（愛媛／愛媛県管工事協同組合連合会青年部連絡協議会）
〃	小松	広和（徳島／徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部）
〃	毛利	崇志（福岡／福岡市管工事協同組合青年部会）
〃	岩永	貴之（長崎／長崎市管工業協同組合青年部）
監　事	石山	健人（神奈川／横浜市管工事協同組合青年部）
〃	神谷	晴江（東京／東京都管工事工業協同組合青年部長協議会）

議決機関である総会、理事会の他、正副会長部会長会、総務・事業部会、監事会などを行い、事業等の立案、運営をしております。

こんな活動やってます！

私達、全管連青年部協議会は、平成 9 年 2 月に、21 都道府県、27 団体、構成員 1,350 名でスタートしました。そして現在、28 都道府県、31 会員団体、構成員約 1,450 名を数えるまでになりました。

目まぐるしく世の中が変化していく時代の中で国民のライフラインを支える私達は、色々な物事に順応し可能性を見出していく事を目的としています。

このような中、青年部会員・役員一同は歴代役員の意思を引き継ぎ、何事に対しても「焦らず、腐らず、驕らず」足元をしっかりと見据えながら「会員サービスのさらなる充実、そしてメリットを実感していただける事業の実施」を第一とし、会員ならびに業界の発展や向上、そして技術者・技能者不足など、その人材確保と育成が建設産業における構造的な課題となっている昨今、「若者が自分の未来を託せる魅力ある業界」にするため全力を挙げて取り組んでいます。

総務部会

・ 通常総会開催事業／通常総会、研修会、関連行事

通常総会並びに研修会、懇親会の企画・運営をする事業です。令和３年度は令和３年８月２１日（土）大分県大分市・ホテル日航大分で開催しました。新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から縮小開催となりましたが、ＷＥＢを併用し全国の会員とハイブリッドな総会となりました。

協議会設立から２５年で初めての女性役員（理事・監事）が誕生し、マスコットキャラクター入りのスカーフが贈呈されました。

また、令和４年８月には栃木県宇都宮市において第２６回通常総会開催を予定しています。

・ 広報関連事業Ⅰ／「アヒルのたまご」の発刊

全国の会員に対して本協議会の活動内容、今後の予定、また会員単組の活動事例報告等、充実した内容で年３回の機関紙を発刊しております。平成９年９月の創刊以来、令和３年１０月発刊分で第７２号となりました。今後も会員のネットワーク作りに役立つ内容で継続してまいります。

「第30回技能グランプリに出場して」
～「敢闘賞」を受賞～

アヒルのたまご
No.65
「北海道総会開催案内」
～夏の北海道は最高です!～

・ 広報関連事業Ⅰ／「全管連ジャーナル」への寄稿

本協議会の活動を親組合機関誌「全管連ジャーナル」に掲載することで、官庁、関係団体、賛助会員、親組合の皆様に私どもの活動を知っていただく事業です。

アヒルのたまごニュース No.250
「平成 30 年度環境問題研究事業報告書が完成」
～全管連青年部ホームページ(https://www.zenkanrenjr.jp)に掲載～

・ 広報関連事業Ⅰ／ホームページの更新

ホームページ（http://www.zenkanrenjr.jp）によって、よりタイムリーな情報を会員に発信していくと同時に、ネット上で多くの方々に本協議会をアピールしています。

・ 広報関連事業Ⅰ／環境問題研究事業報告書の作成

全国の水源地などでゴミの収集、植林などを行う環境美化活動「水源地クリーンキャンペーン」および、子供たちが本来持っている環境への感性を磨き、環境に対する自分の責任と役割を自覚する心を育むことを目的とした「エコクラブ探検隊」を毎年実施し、報告書としてまとめています。

ホームページや Facebook と LINE を活用しアンケート投票、また全国の工業高校等にアンケートを持ち込み投票いただき、通常総会において最優秀賞などを表彰しています。

本事業は青年部協議会設立以来の事業で、平成 17 年には第 17 回日本水大賞「審査部会特別賞」、さらに令和２年には第 22 回日本水大賞で**「厚生労働大臣賞」**を受賞しています。
今回受賞した活動は、近年、使われなくなった水田で稲作を再開することで地下水涵養を行い、水源地・河川の清掃、水源涵養林の整備、公共施設の漏水修理による節水の取組等で、水の大切さを支えているという意識を持ち長年にわたりボランティア活動として全国的に取組みを積極的に継続してきた点が評価されました。

表彰状

日本水大賞
厚生労働大臣賞

水源地クリーンキャンペーン
エコクラブ探検隊

全国管工事業協同組合連合会
青年部協議会 殿

あなたの活動は水循環の健全化に大きく貢献するものです
その功績に敬意を表しここに
第十二回日本水大賞の厚生労働大臣賞として表彰いたします

令和二年六月二十三日

厚生労働大臣 加藤勝信

第 22 回日本水大賞

・「日本赤十字社に義援金を贈呈」～令和３年２月福島県沖地震災害～

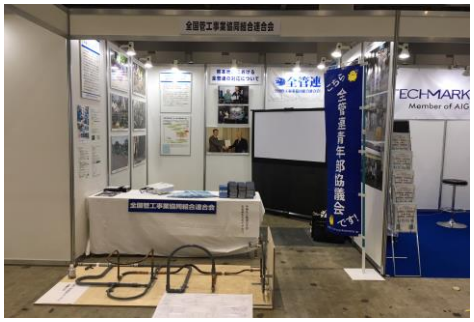
令和３年２月､福島県沖地震災害への義援金として日本赤十字社に 50 万円を贈呈しました。贈呈した 50 万円は、本協議会の活動の一環として「水道地クリーンキャンペーン・エコ倶楽部探検隊」が第 22 回日本水大賞の厚生労働大臣を受賞したことによる副賞として授与されたもので、有意義な活用について議論しました。

なお、これまで令和元年９月に北海道身胆振東部地震災害などの義援金も贈呈しています。

・ 広報関連事業Ⅱ／全管連総会ＰＲ事業等

〇親組合とのコラボレーション

令和元年８月２３・２４日に全管連賛助会員・橋本総業㈱主催の「みらい市２０１９」へ出展（令和２年度は中止）。地震など災害時における全管連の対応について、パネル展示を行うと共に、青年部の活動状況について来場者へＰＲを行っています。令和３年度は、令和４年２月２・３日に予定されています。



・広報関連事業Ⅱ／出前トークミッション

本協議会に未加入の全国の組合・県連青年部へ赴いて懇話会を開催する事業です。本協議会の活動内容の紹介や加入促進に繋がるＰＲ活動を展開することにより、多くの青年部の皆様に“全管連青年部協議会”を知っていただき、共に活動していきたいと思っています。

・ 広報関連事業Ⅱ／周年事業への参加・協力

全国の会員青年部の周年事業に参加するなど、会員の方々と交流を重ねて様々な協力をしています。

・広報関連事業Ⅱ／献血活動

青年部協議会は、「献血サポーター」として愛の献血運動のために積極的に協力すべく、平成２６年の埼玉総会から、献血事業をスタートさせて５年以上にわたって、累積 500 名の全国の青年部会員の献血協力をいただいています。継続して行っている献血事業に対し長年にわたる功績を称えられ、令和２年２月、東京都赤十字血液センター所長から、感謝状が授与されました。

事業部会

・ 会員交流事業

本事業は、各会員が相互に意見交換をすることでお互いを啓発し、自己の向上を図り、さらには各会員の飛躍に繋がる場を提供するために開催しています。

令和元年度は、令和元年１０月２６日（土）に香川県において高松市上下水道工事業協同組合青年部会との交流会を目的とし、活動事例発表や意見交換を行いました。その後、全管連賛助会員の㈱川西水道機器様の工場見学など有意義な研修会でした（令和２年度は中止）。

・ 全管連委託事業／業界ＰＲビデオの作成、「Facebook」の普及

全管連より、建設業界の人材不足が深刻化している状況を踏まえ、青年部の協力を得て、若年労働者入職促進用の管工事の仕事紹介動画を作成いたしました。動画に引き続き、令和３年度は業界ＰＲパンフレットを製作しています。

また、「Facebook」「LINE」を活用し、全管連青年部協議会の限定グループを作ることで、会員間の情報交換や地元青年部の活動報告、また、災害時における安否確認、緊急連絡方法として活性を図っています。

「管工事の仕事紹介動画・リクルート編」（９分３３秒）

～未来を繋げる管工事が君たちを待っている！～

全管連のホームページで公開しています。

URL　http://www.zenkanren.or.jp/　　YouTube のQRコード

・担い手育成事業

現在の建設業界、とりわけ管工事業界において、人材の確保と育成は喫緊の課題となっています。現状の人材確保・育成はもちろん、未来の人材発掘のために若い世代に業界をアピールすることは、青年部においても重要項目であり、青年部会員へアンケート調査を行い、その結果をもとに魅力ある業界を伝えていくように検討しています。

本年、環境問題研究事業のアンケートの依頼で高等学校に伺った際に、会社案内も持参したところ、４名のインターン希望があり、その内２名の入社が内定した好事例もあり、引き続き、様々な方策で業界に理解いただき、汗をかいて人材の確保を行っていきます。

今後の全管連青年部の活動目標について

・管工事業界を担う若年技能者の育成に尽力を注ぐ

・技術・技能を継承し、管工事業界をアピールする

・親組合との連携を図り、青年部らしい事業を進める